

資料提供(投げ込み) 令和2年2月19日(水)	
場所 津市政記者室	
事務担当課	
所 属	職・氏 名
危機管理部 防災室 (電話059-229-3104)	防災室長 出口 真也

令和元年度津市災害対策図上訓練の実施について

近年発生が危惧されている南海トラフ地震を想定した災害対策図上訓練を実施することにより、巨大地震の発災24時間後における災害対策本部の情報収集等の基本的活動、各部の災害対応活動の鍛錬を行い、本市の災害対応力の向上を図ることを目的に、下記のとおり令和元年度津市災害対策図上訓練を実施します。

なお、本図上訓練は、災害対策基本法第48条及び津市地域防災計画に基づき実施します。

記

1 日時

令和2年2月25日(火) 8時45分～11時15分

2 場所

市本庁舎8階 大会議室A・B、職員研修室、危機管理部無線室
各総合支所執務室

3 訓練想定

令和2年2月24日(月)8時30分、三重県南東沖を震源とするマグニチュード8.7規模の南海トラフ巨大地震が発生し、市内では最大震度「6強」を観測した。沿岸部では、巨大津波により、多くの死傷者が出ており、津波浸水区域外の避難所等にも多数の避難者がいる模様。

また、家屋の倒壊、火災の同時発生、道路・ガス・水道等ライフラインの寸断等の被害が出ており、今後更に被害が拡大していくことが予想される。

4 訓練参加者

(1) 津市

【訓練部隊】

災害対策本部

本部長、副本部長、災害対策本部各部員(各部3～5名程度)

【訓練統制部】

危機管理総務部員の一部、各支部(総合支所)部員の一部

(2) 三重県

三重県津地域防災総合事務所

- (3) 訓練協力機関
陸上自衛隊久居駐屯地第33普通科連隊、三重県警察（津警察署、津南警察署）
- (4) 訓練評価者
三重大学大学院工学研究科 准教授 川口 淳 氏

5 服装

防災ユニフォーム キャップ
※消防本部職員は活動服とアポロキャップ

6 訓練項目

- (1) 災害状況（情報）の把握、整理と被害予測を考慮した災害対応
- (2) 災害対策本部による応急対策の意思決定
- (3) 各部・各支部の任務に応じた対応
- (4) 市、県、防災関係機関の相互連携

7 訓練の狙い

- (1) 津市地域防災計画に基づく発災直後における本市災害対策本部の初動体制の確立と「津市業務継続計画」（津市BCP）の検証
- (2) 災害イメージの形成と状況予測
- (3) 災害情報の取扱い修得（情報収集・整理・分析）と災害対応を図る迅速な意思決定の向上
- (4) 県をはじめとする関係機関との情報共有、活動調整の促進

8 訓練スケジュール

訓練時間	項目
8:45 ～ 9:00	訓練説明
9:00 ～ 10:45	災害対策図上訓練（発災24時間後の想定） ※10:15に災害対策本部会議開催
10:45 ～ 11:00	【各部等】アンケート記入（訓練の課題や反省等） 【訓練協力機関】検証結果を評価者へ伝達
11:00 ～ 11:15	閉会式 訓練講評等 ・川口淳准教授 ・前葉泰幸災害対策本部長

9 その他

警報等の発表により津市災害対策本部が設置された場合は、訓練を中止します。